

第 39 回 近畿建築祭兵庫大会のご案内

2 年ぶりに近畿の建築士が集う近畿建築祭兵庫大会は、「姫路で逢おう 生きぬく力 ひと・まち・建築」を合言葉に「わがこころの建築文化を求めて」をテーマとして開催します。世界遺産姫路城を仰ぎつつ、コロナ禍の今、歴史を重ねた建築物やその景観が持つ力が人々に与える希望と勇気を再認識し、昨年、困難な状況下で開催された「大阪建築祭」でも共有された建築士の職能（プロフェッション）を喚起する大会とします。本大会の開会式（記念講演会）を一般公開いたします。

開催日 2022 年 1 月 29 日（土）10：00 ～ 16：30

会場 アクリエひめじ 姫路文化コンベンションセンター

兵庫県姫路市神屋町 143-2

TEL：079-263-8082（代表）

姫路駅（JR 在来線、新幹線）から徒歩 10 分



プログラム

- 記念式典 9：30 ～ 10：00 受付
10：00 ～ 10：30 開会式
10：30 ～ 12：10 記念講演会
・10：30 ～ 11：40 記念講演 千田嘉博氏
・11：40 ～ 12：10 姫路城平成大修理報告 小林正治氏（姫路市都市局公共建築部部長）
12：10 ～ 12：25 閉会式
12：25 ～ 12：40 企業ブースご案内
- 昼食 12：40 ～ 13：30
- エキスカージョン 13：00 ～ 16：30（各コース随時解散）
 - ・エキスカージョン① 姫路城コース
 - ・エキスカージョン② 書写山コース
 - ・エキスカージョン③ たつのコース
- セッション 13：30 ～ 16：30（アクリエひめじ会議室）
 - ・セッション A 青年部会 近畿あーきてくと Vol. 29
 - ・セッション B まちづくり部会
「防災と歴史的文化遺産（ヘリテージ）」
 - ・セッション C 女性部会
近畿の「魅力ある和の空間」パネル展示

記念講演会

講師 千田嘉博氏（城郭考古学者）

「姫路城から見た近世城郭の歴史的意義」

姫路城のかたちや守りのくふうを読み解き

各地の城と比較して、近世城郭成立の歴史

的意義を考えます。



撮影：島中和久氏

千田 嘉博（せんだ よしひろ）氏 1963 年愛知県生まれ。城郭考古学者。奈良大学 教授。大阪大学博士（文学）。名古屋市見晴台考古資料館 学芸員を経て 1990 年から国立歴史民俗博物館 助手・助教授。この間に文部省在外研究員としてイギリス・ヨーク大学などに留学。2005 年から奈良大学 准教授、2009 年より同教授。2012 年から 13 年にドイツ・チュービンゲン大学考古学部客員教授。2015 年に考古学の優れた研究者に与えられる濱田青陵賞を受賞。2016 年の NHK 大河ドラマ「真田丸」の真田丸城郭 復元考証者。2018 年に奈良新聞文化賞を受賞。日本各地の城跡の調査と整備の委員を務めている。

主な著書に『織豊系城郭の形成』東京大学出版会、『戦国の城を歩く』ちくま学芸文庫、『信長の城』岩波新書、『石垣の名城』講談社、『城郭考古学の冒険』幻冬舎新書などがある。

参加申込書

FAX 送信先：各府県建築士会事務局

※申込後受付後、12 月上旬頃に事務局より詳細（参加費振込方法等）を連絡致します

フリガナ				
氏名		年齢		性別
建築士会の会員ですか？	はい	いいえ	エキスカージョンに参加される方は、①、②、③のいずれかを記入してください	
所属県・支部	県	支部	第 1 希望	第 2 希望
CPD 番号	セッションに参加される方は、A、B のいずれかを記入してください（C は展示のみ）			
			第 1 希望	第 2 希望
連絡先電話番号		メール又は FAX 番号		

※緊急連絡用となります

・2021 年 11 月 30 日までに、必要事項を記入の上、お申込み下さい。

・収集した個人情報は参加者登録の目的のみに使用され、他の目的で使用する事はありません。

・申込先・問合せ先：各府県建築士会事務局

・新型コロナ感染対策により、定員を制限しております。当日はマスクを着用し、体調不良の方は参加を見合わせてください。

また、入場前に検温をさせて頂き、体温が高い場合は参加をご遠慮いただくこともあります。

本大会は感染対策に十分な配慮をしています。

第 39 回 近畿建築祭 兵庫大会



わがこころの建築文化を求めて

2022 年 1 月 29 日（土）アクリエひめじ 姫路文化コンベンションセンター

プログラム
記念式典 10：00 ～ 12：25

記念講演 城郭考古学者 千田嘉博氏「姫路城から見た近世城郭の歴史的意義」

姫路城平成大修理報告 姫路市都市局公共建築部部長 小林正治氏

エキスカージョン 姫路城ほか全 3 コース 13：00 ～ 16：30

セッション 全 3 クラス 13：30 ～ 16：30

参加費 4000 円（昼食込み エキスカージョン参加費別途）

主催：近畿建築士会協議会【代表会：（公社）大阪府建築士会、幹事会：（公社）兵庫県建築士会】

後援：国土交通省近畿地方整備局、滋賀県、京都府、大阪府、奈良県、和歌山県 兵庫県、姫路市、たつの市





エキスカーションのご案内

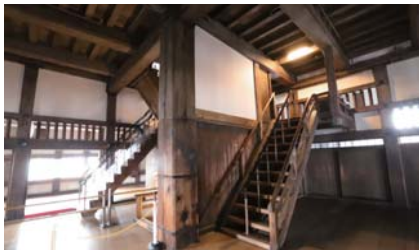
エキスカーション① 姫路城コース

13：30～16：30 参加費 500 円 定員 8 0 名 (20×4 班)

「平成の修理」を終え再びよみがえった天守閣

国宝姫路城は平成 5 年 12 月、日本で初の世界文化遺産となりました。400 年以上の時を越え、平成 2 1 年より 5 年の歳月をかけ大天守保存修理が行われ、別名「白鷺城」と呼ばれている優美な姿がよみがえりました。

白漆喰総塗籠造りの鮮やかな白の城壁や 5 層 7 階の大天守と東、西、乾の小天守が渡櫓で連結された連立式天守が特徴です。今、私たちが目にしている姫路城の大天守は慶長 14 年（1609 年）に建築されたもので、日本最高峰の木造建築物にして、世界でも類を見ない美的完成度を誇る姫路城には国宝 8 棟、重要文化財 7 4 棟が今もなお残されています。



エキスカーション② 書写山コース

13：00～16：30 参加費 1500 円 定員 3 0 名

「西の比叡山」天台宗の三大道場と称された巨刹

圓教寺（円教寺、えんぎょうじ）は、姫路市の書写山に位置する寺院で、平安時代（966 年）に開かれた天台宗の別格本山です。近年では、映画「ラストサムライ」のほか、NHK 大河ドラマ「武蔵」や「軍師官兵衛」「関ヶ原」のロケ地にもなりました。境内は国指定の史跡であり、国指定重要文化財 1 0 棟、県指定文化財 4 棟など数多くの文化財建造物が現存しています。壮大な掛造りの摩尼殿、大講堂・食堂・常行堂で構成された三之堂の空間が壮大なスケール感を醸し出し、静寂な空間に当時の面影を連想させます。

エキスカーション③ たつのコース

13：00～16：30 参加費 500 円 定員 3 0 名

国の重要伝統的建造物群保存地区 龍野の町並み

龍野藩五万三千石の城下町である、たつの市龍野伝統的建造物群保存地区が、令和元年 12 月に 119 番目の国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されました。龍野伝建地区は、16 世紀末までに龍野城下に形成され、近世以降、醤油醸造の一大産地に発展した町であり、江戸時代に形成された町割りを残すとともに、軒が低く大壁造の古式な町家や醸造等に関わる重厚な土蔵等がよく残り、中世を起源とする西播磨の城下町としての歴史的風致が高く評価されました。「播磨の小京都」とも呼ばれていて、歩くだけで随所にその歴史の深さを発見できるまちです。

いずれも参加者が最低催行人数に満たない場合は中止とします

セッションのご案内

セッション A 近畿建築士会青年部会

13：30～16：30

地域で活躍する建築士の底力を知る

長いコロナ禍で私たちは対面により体験や情報をリアルに共有する事の難しさを経験してきました。厳しい外出制限により他者との交流は必要最小限にとどまり自ら求める情報以外は得にくい状況も続いています。しかし私たち建築業界では実際に建築や空間を創り上げる上で人との対面は必要不可欠です。在宅やオンラインによる業務手法が定着してきた今だからこそ、身近な建築士仲間に気づき、お互いを知り、情報を整理する事で対面・非対面に関わらず個々の業務においての可能性を広げてく事が出来ると信じます。

セッションでは近畿ブロック内の青年層建築士の中でも少しニッチで興味深いジャンルのお仕事を中心に活躍されている 6 名に来て頂き、建築業界を様々な角度から切り開くトークセッションを開催いたします。また個々が持っている『人』の情報を集約し『誰が』『どこで』『何を』しているのかを分かりやすく顕在化し、仲間同士を繋ぐツールとして近畿建築士MAPも作成いたします。

セッション B 近畿建築士会まちづくり部会

13：30～16：30 定員 40 名程度

「防災と歴史的文化遗产（ヘリテージ）」

姫路城改修、龍野川西地区（重伝建指定）を軸に、世界遺産である首里城ノートルダム大聖堂の火災、熊本城の震災、更にコロナ禍を踏まえ心の拠り所である建築文化遺産に関わる建築士の役割を見直し、未来への示唆を市民と共に共有します。

セッション C 近畿建築士会女性部会

13：30～16：30

近畿の「魅力ある和の空間」

公益社団法人日本建築士会連合会の女性委員会では、2016 年より「和の空間」をテーマに活動してきました。そして、和の空間をあらためて捉え直し、今後の設計活動、居住環境づくりに活かしていくこと、多くの方々に全国各地に現存する貴重な建築の魅力を広めることを目的として「魅力ある和の空間ガイドブック WEB 版全国版」を制作いたしました。今回は、我々近畿各府県建築士会女性委員会が

推薦する「近畿の魅力ある和の空間」を厳選しパネルでご紹介します。近畿各地の「和の空間」をご堪能ください。また、映像ブースでは、丁寧な取材調査の過程で撮影した秘蔵写真のほか、「くらしとすまいをみつめる」をテーマに第 5 回まで開催した継続セミナー事業もご紹介します。近畿建築士会女性部会の繊細でエネルギッシュな活動を是非ご覧ください。

プログラム

【兵庫からの報告】

- ◇「姫路城の防災」
- ◇「龍野川西地区（重伝建）の取り組み」

【近畿からの報告】

- ◇「全国HMNW協議会 近畿ブロックの活動」
- ◇「連合会まちづくり部会の動向」

【意見交換】

- ◆パネルディスカッション
（報告者＋モデレーター）

近畿の「魅力ある和の空間」巡行

